



5 月度「スカパー! サヨナラ賞」受賞選手が決定！ セ・リーグは山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ） パ・リーグは清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ）

受賞選手をより詳しくご紹介する動画公開！
PR アンバサダー・倉持明日香が選手に直撃インタビュー！

スカパー! は、2012 年よりセントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー! サヨナラ賞」に協賛してきました。今シーズンも本賞に協賛しており、5 月度受賞選手に選ばれた山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ）と清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ）の表彰式を行いました。

スカパー! では、プロ野球を盛り上げるべく、2012 年に制定された月間「スカパー! サヨナラ賞」に協賛しています。本賞は月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手を両リーグから 1 名ずつ選出し、スカパー! よりトロフィーと賞金 30 万円をお贈りします。また、本年はスカパー! 視聴者様を表彰式にご招待し、選手へ賞品贈呈も行っております。さらに、受賞選手をより詳しくご紹介するためにスカパー! プロ野球 PR アンバサダーを務める倉持明日香が受賞選手に直撃インタビューを実施。表彰式の映像とともにスカパー! プロ野球公式 twitter (@sptv_baseball) などで動画を公開します。

6 月 14 日（木）、月間「スカパー! サヨナラ賞」5 月度の受賞選手に、セ・リーグは山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ）、パ・リーグは清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ）が発表されました。山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ）は発表に先駆け 6 月 8 日（金）に、清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ）は発表同日に表彰式を行い、トロフィーと賞金の 30 万円を贈呈しました。また、両選手の表彰式には、今年で 3 年目を迎えるスカパー! プロ野球 PR アンバサダーの倉持明日香さんが登場し、プレゼンターを務めました。



【5 月度「スカパー! サヨナラ賞」授賞式の様子】

「受賞選手コメント」

山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ）	清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ）
今回は、このような賞を頂き本当にありがとうございます！まさか自分がこのようなすごい賞を頂けるなんて思ってもいなかったので、すごく嬉しいです。自分の中では野球人生を懸けた1打席だったので、しっかりと打てて、さらにはサヨナラ打といった形になったので、僕の中では「野球をやっていてよかった」と思える特別な1打席になりました。またこういった「チームを勝たせる1打」を打ちたいと思いますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。	サヨナラ賞を受賞させていただき本当にありがとうございます。9回にドミンゲス選手が同点の2ランホームランを打ってくれて、最後にチャンスで僕に打順をまわしてくれたチームのおかげだと思います。2アウトだったけど打てたというのは僕の自信にもなりました。シーズンはまだ長いですがチーム状態は良いですし、若い選手も頑張っています。僕もそこに乗っかっていけるようにチーム一丸になって頑張って、シーズン最後は笑顔で井口監督を胴上げできるように頑張りたいと思います。ファンの皆さん、いつも応援していただきありがとうございます。また、この場に立てるように精いっぱい頑張っていきますので応援、よろしくお願い致します。

「受賞プレー概要」

セントラル・リーグ 山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ） 初受賞
山下選手は、5月31日（木）横浜スタジアムで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス2回戦、3対3で迎えた延長10回裏、二死二塁の場面でライトへサヨナラ打を放った。 横浜 DeNA ベイスターズは4回、東北楽天・ペゲーロ選手のホームランで先制を許すと、6回に二死一塁から宮崎選手の左中間への2ランホームランで逆転。その後、再び逆転を許して迎えた最終回、土壇場の二死から筒香選手が同点ホームランを放ち延長戦へ突入。延長10回裏、二死から代打桑原選手がライトへのツーベースで出塁すると、この日1軍に昇格したばかりの山下選手が東北楽天の抑えのエース松井投手からライトへ劇的なサヨナラ打を放った。今季初打席での一打がチーム今季初のサヨナラ勝利となる殊勲打となった。 山下選手の目からは涙が溢れ、この劇的な一打は入団4年目でプロ入り初のサヨナラ打となった。
パシフィック・リーグ 清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ） 初受賞
清田選手は、5月24日（木）ZOZO マリンスタジアムで行われた対北海道日本ハムファイターズ12回戦、6対6で迎えた12回裏、二死一、三塁の場面でレフトへサヨナラ安打を放った。 この試合は9回表を終えて北海道日本ハムが5対3とリード。9回裏、千葉ロッテは一死一塁から代打・ドミンゲス選手が同点本塁打を放ち、延長戦へもつれ込んだ。北海道日本ハムは11回表に1点をあげたが、その裏、千葉ロッテは二死二塁から再びドミンゲス選手が適時二塁打を放ち同点に。同点で迎えた12回裏は、先頭・荻野選手の安打をきっかけに二死一、三塁のチャンスを作ると、この場面で打席に立った清田選手が3ボール1ストライクからの5球目をレフトへはじき返し、劇的なサヨナラ勝利を飾った。 清田選手のサヨナラ打は2016年5月7日（オリックス戦）、2017年5月26日（オリックス戦）以来3本目、本賞の受賞は9年目で初めてとなる。

「スカパー！プロ野球PRアンバサダー倉持明日香さんコメント」

【山下幸輝選手（横浜 DeNA ベイスターズ）の受賞に対するコメント】 山下選手、その日に1軍に上がってきたばかりの今シーズン初の打席で、追い込まれてからの1打で見事なサヨナラヒットでした。私、山下選手より先に泣きました。あの場面を見て、泣かない野球ファンはいないんじゃないかと思います。1軍で結果を出さないといけないというプレッシャーの中でのあの1打、山下選手が「1日1日が勝負」と野球に真摯に向き合ってきた結果が出たんだと思います。 【清田育宏選手（千葉ロッテマリーンズ）の受賞に対するコメント】 清田選手のサヨナラは、12回裏2アウトの場面という、まさに野球の醍醐味がつまったシーンでした。最後まで粘り強い試合だったと思います。あの場面は、サヨナラ打の前に、中村選手が盗塁を決めて、一、二塁から一、三塁にチャンスを広げました。足を使っていく、という井口監督の体制のもと、新しいチームの形が見られた、というのが個人的に嬉しかったです。清田選手は自分のサヨナラ打の時や他の選手が打った時も一番嬉しそうにしているので、これからもその笑顔をチームでもっともっと見られるといいなと思う一振りでした。

■ **月間「スカパー! サヨナラ賞」とは**（公式サイト：<https://baseball.skyperfectv.co.jp/sayonara/>）

月間「スカパー! サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として 2012 年に制定されました。スカパー! は 2006 年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」（※トップ&リレー、録画放送を含む）を掲げています。

「試合終了最後の 1 球まで真剣勝負をお届けするスカパー! 」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと 2009 年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー! ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。

リリース情報は、スカパー! 公式サイトにも掲載されております。<https://www.skyperfectv.co.jp/>